

会場までの交通機関のご案内



●路線バス：秋田駅西口から15分程度
・神田旭野線⑧ ・神田土崎線⑧ ・添川線⑧
バス停/原の町下車, 料金220円

●タクシー：秋田駅から10分程度
：秋田空港から60分程度
●徒歩：秋田駅から25分程度

参加申込方法

- 別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、令和元年5月17日(金)までにFAXにてお申し込みください。
- お一人ずつの申込みとなっております。申込みが複数になる場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてお使いください。
- 参加申込書をお持ちでない団体、個人様におかれましては、下記のE-mail(研究部)で、お名前、ご住所等をお知らせください。こちらから郵送いたします。

昼食

お弁当の注文、斡旋は行っておりません。各自でご準備なさるか、本校近隣の飲食店をご利用くださるようお願いいたします。

参加費

- 2,100円
別紙払込取扱票に必要事項をご記入の上、令和元年5月24日(金)までに各金融機関にてお支払いください。
- 払込取扱票はコピーできません。払込取扱票が必要な方は下記のE-mail(研究部)で、お名前、ご住所、必要部数等をお知らせください。こちらから郵送いたします。

その他

- 生徒の写真及びビデオ撮影はご遠慮ください。
- 上履きは、各自でご用意ください。
- 駐車場を準備いたしますが、台数に限りがあります。乗り合わせてご来校いただければ幸いです。

● 問い合わせ先 ●

秋田大学教育文化学部附属中学校

〒010-0904 秋田市保戸野原の町7番75号
TEL 018-862-3350 FAX 018-863-2507
URL <http://www.jrh.akita-u.ac.jp>
E-mail (研究部) : kkb@jrh.akita-u.ac.jp

本校ホームページで公開研究会に関する資料を随時掲載していきますので、ご意見、ご質問がありましたら、Eメールでお問い合わせください。

令和元年度

公開研究協議会のご案内 (第2次)

研究主題 **共に未来を切り拓く 開かれた個**

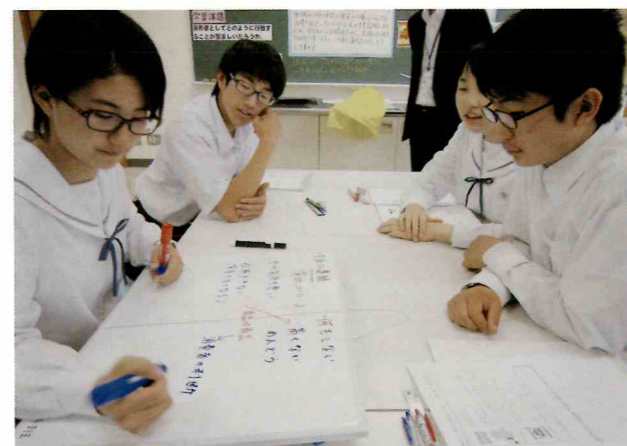
2年次(令和元年度)研究副主題
批判的思考力の伸長を促す授業改善

新緑の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日ごより本校の研究推進のため、ご指導・ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、本校では予測困難な近未来の社会において、他者と協働し新たな価値を創造する資質・能力を育む研究を昨年度からスタートさせました。2年次の今年度は、思考の可視化を図るための「ミエルトーク」と、前向きに物事を考えるための態度を育てる「NES評価」を活用した授業改善に焦点を当てた実践研究に取り組んでおります。

つきましては、下記のとおり公開研究協議会を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、多数ご参会いただきご指導くださいますよう、お願い申し上げます。

秋田大学教育文化学部附属中学校長 原 義彦



● 開催要項 ●

- ◆期 日 令和元年5月31日(金)
- ◆主 催 秋田大学教育文化学部附属中学校
- ◆共 催 秋田大学教育文化学部附属教職高度化センター
- ◆後 援 秋田県教育委員会 秋田市教育委員会
秋田県中学校長会 秋田市中学校長会
- ◆会 場 秋田大学教育文化学部附属中学校
- ◆日 程

	8:20	9:00	9:25	9:30	9:50	10:10	11:00	11:20	12:40	13:30	14:10	14:20	15:50
受 付	全体会	校長挨拶 研究概要説明 (25)	準備 5	ミエルトーク 説明会 (20)	移動 20	公開授業 (50)	休憩 20	教科別分科会 (80)	昼食 50	道徳科 特別活動 研究説明 (40)	休憩 10	講 演 森 和彦 先生 秋田大学教授 (90)	

公開授業

公開授業 (10:10~11:00)

教科	学年・学級	単元・題材名と指導のポイント	授業者名
理科	2A	化学変化と原子・分子 ～原子のモデルを使って、化学変化のしくみに迫る～	菊地智則
社会	2B	産業の発達と幕府政治の動き ～多面的・多角的な考察により、歴史的事象に迫る～	小熊大樹
美術	2D	光と明かりの演出 ～造形的な見方・考え方を働かせるものづくり～	伊藤知佐子
数学	3A	標本調査 ～標本調査を活用して、資料の傾向を推測し、判断につなげる～	大友静
英語	3B	Unit2 From the Other Side of the Earth ～話合いから、よりよい意見につなげる～	小松紳
保健体育	3C	医薬品の正しい使用 ～健康情報を自ら収集・判断し、実践力を高める土台づくり～	藤倉修
国語	3D	新聞の社説を比較して読もう ～論理の展開を吟味し、主張の核心に迫る～	牧留美子

※ 本日13:30~14:10の道徳科・特別活動研究説明では、各領域におけるミエルトークでの「ミセルさん」「アシスタント」「ナンデさん」の役割、「人生の樹」や「ハバヘラカード」などの教材・教具の使い方などを説明します。

また、11月8日(金)の秋季授業研究会では、道徳科と特別活動の授業を公開いたします。

講演

(14:20~15:50)

【講師】 秋田大学教育文化学部
こども発達・特別支援講座 教授

もり 森 先生
かず ひこ 和彦 先生
(本校研究の全体指導者)



【演題】 『生徒の批判的思考力を磨くための授業開発研究』

【略歴】 1955(昭和30)年 静岡県に生まれる。
東北大学大学院博士課程。
中部女子短期大学、秋田大学教育学部助教授を経て、現職。

【主要論文等】『小児看護教育における就学前児童の感染概念の教授に関する心理学的考察—就学前児童の感染概念の発達に関する研究展望—』 秋田大学総合基礎教育研究紀要第4集, 1997年
『質的情意面に焦点化した観点別学習自己評価法(NES)の実践活用に関する探索的考察』 秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要第32号, 2010年
『NES型学習自己評価法の工夫と改善 ~公立小学校での非限定的臨床応用による考察~』 秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要第32号, 2012年
『NES型学習自己評価法の工夫と改善(2) ~特別支援学校, 特別支援学級での試験的実践応用に関する考察~』 秋田大学教育文化学部教育実践研究紀要第32号, 2014年

分科会の構成

分科会 (11:20~12:40)

分科名	研究テーマ	助言者	共同研究者	司会者	記録者
国語	新たな価値の創造を目指し、言葉による見方・考え方を育む評価読みの指導 ～協働的な学習を通して、思考力・表現力を高める授業づくり～	京野真樹 (中央教育事務所)	阿部昇 (秋田大学)	原田俊子 (飯島中)	鎌田雅子 (附属小)
社会	共に考え、社会に自ら参画する力を育む指導 ～「問い直し」により、新たな価値を見いだす授業づくり～	津島穂 (中央教育事務所)	外池智 (秋田大学) 加納隆徳 (秋田大学)	嵯峨隆之 (勝平中)	石井史知 (附属小)
数学	問題解決過程における協働的な学習を通して、深い学びを実現する指導 ～批判的思考を組み入れた学習活動を通して新たな価値を創造できる授業づくり～	倉田和人 (中央教育事務所 由利出張所)	杜威 (秋田大学) 佐藤学 (秋田大学)	池田裕 (城東中)	保坂智子 (附属小)
理科	自らの「問い」を科学的に追究する力を育む指導 ～個々の考えの共有から、集団としての考えを深める授業づくり～	武田憲 (中央教育事務所)	川村教一 (兵庫県立大学)	保坂学 (豊岩中)	渡部誠一郎 (附属小)
美術	感性を働かせ、思いを発信する力を育む指導 ～関わり合いの中から、思いを深め表現する授業づくり～	木内衛 (中央教育事務所 由利出張所)	遠藤敏明 (秋田大学)	奈良隆一 (桜中)	佐々木恵 (附属小)
保健体育	仲間と共に高め合い、体育や保健の見方・考え方を育む指導 ～対話を通して、思考を活動につなげる授業づくり～	沼倉友和 (中央教育事務所)	松本奈緒 (秋田大学)	佐藤清 (下浜中)	佐藤秀恒 (附属小)
英語	話合いの中で課題解決する力を育む指導 ～様々な意見を論理的に整理し、伝える授業づくり～	伊藤景子 (中央教育事務所)	若有保彦 (秋田大学)	佐藤雅人 (岩見三内中)	藤田峻 (附属小)

< 批判的思考力の伸長を促す授業改善の手立て >



【ミエルトーク】
ファシリテーショングラフィックの手法を用いた話合い活動を通じて、情報を精査し、論理的に考える力を身に付けます。



【NES評価】

ポジティブに授業を振り返り、その思いを共有することで、自己有用感や内省力を高めます。



話合いを生徒同士で構造化する活動を通し、論理的に思考する力を育てています。上のキャラクターは、話合い活動のそれぞれの役割を表しています。